

青少年の状況

① 都道府県別若年無業者比率(近畿)

■全国平均より高い比率

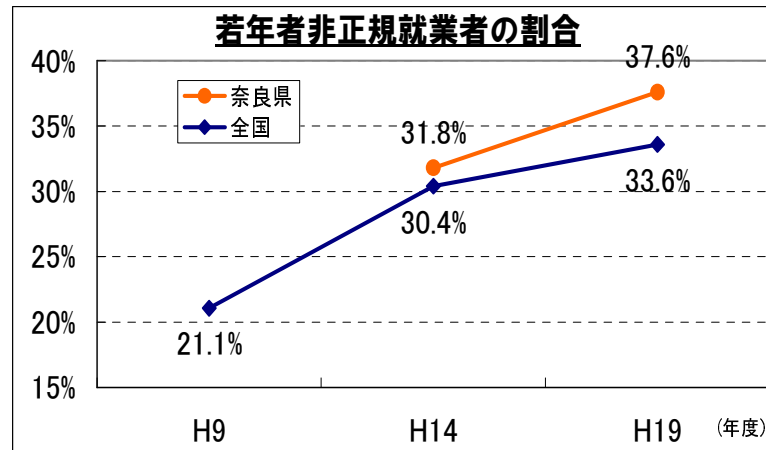
(単位: %)

都道府県	H4	H9	H14	H19	H14 順位	H19 順位
滋賀	1.53	1.90	1.77	2.0	46	42
京都	1.94	2.26	2.79	2.5	9	28
大阪	2.35	2.23	2.64	3.0	13	11
兵庫	1.70	2.17	3.08	2.8	4	16
奈良	2.27	2.46	2.94	3.4	7	6
和歌山	2.02	2.60	2.59	3.3	19	7
全国	1.90	2.03	2.49	2.6		

資料出所：内閣府『青少年の就労に関する研究調査』、
H19は労働政策研究・研修機構集計値
調査時点：調査年における10月
調査周期：5年（厚生労働省『就業構造基本調査』をもとに特別集計）
算出方法：【15～34歳】（非求職型無業者＋非希望型無業者）/都道府県人口

② 若年者非正規就業者の割合

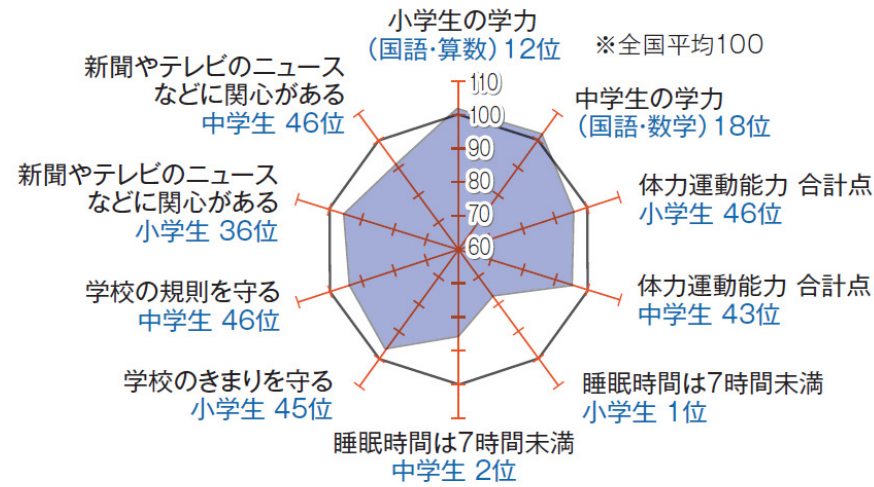
■全国平均を上回るペースで増加



出典：平成19年就業構造基本調査

③ 子どもたちの状況

■子どもの学力は比較的高いが、学習意欲、体力、規範意識は低い



平成22年度「全国学力・学習状況調査」
平成22年度「全国体力・運動能力等調査」

資料：文部科学省

④ 1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移 (国公立小・中学校)

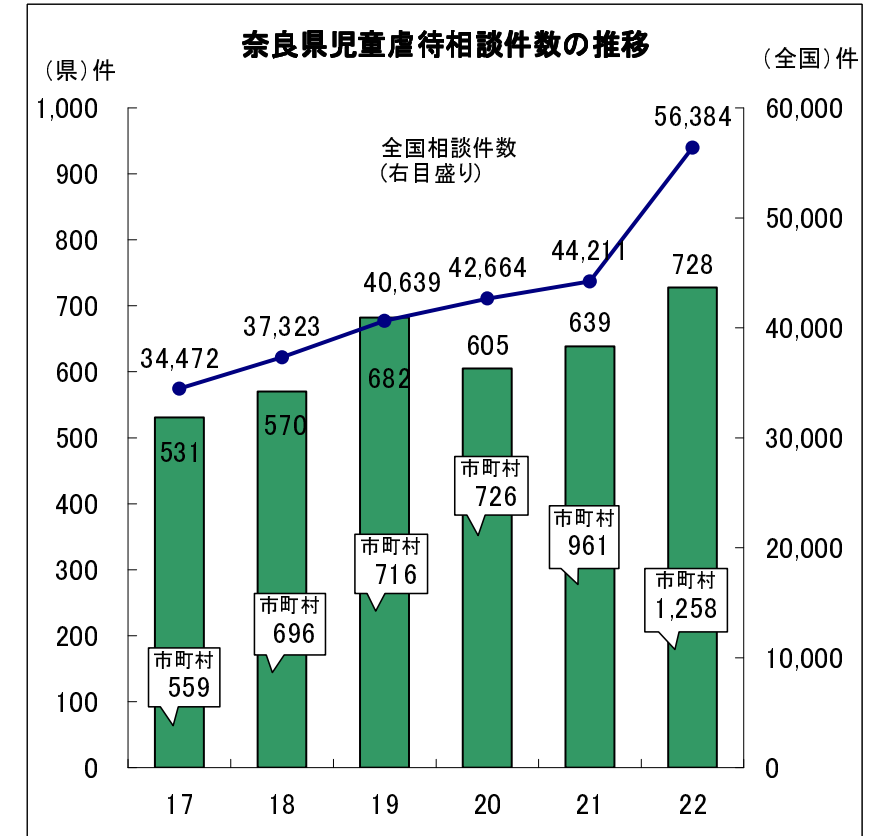
■全国平均を上回る状況が続いている

	小学校		中学校		小・中学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
平成18年度	4.3人	3.3人	30.3人	28.6人	13.0人	11.8人
平成19年度	4.4人	3.4人	31.5人	29.1人	13.6人	12.0人
平成20年度	3.9人	3.2人	32.8人	28.9人	13.7人	11.8人
平成21年度	4.1人	3.2人	29.5人	27.7人	13.0人	11.5人
平成22年度	3.6人	3.2人	30.8人	27.3人	13.1人	11.3人

資料：文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

⑤ 児童虐待相談件数の推移

■児童虐待相談件数は全国、奈良県とも増加



出典：県子ども家庭課調べ